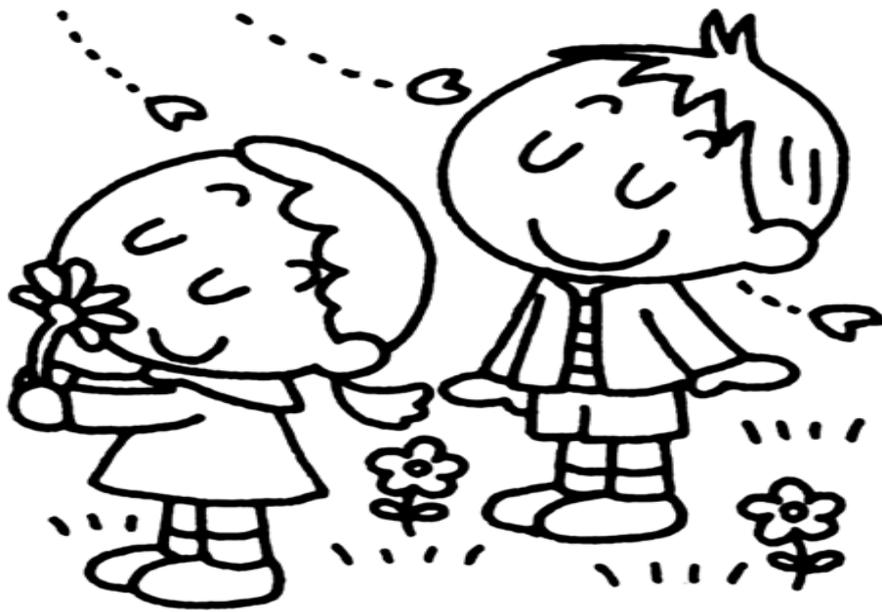


平成 29 年度

# 入園のしおり



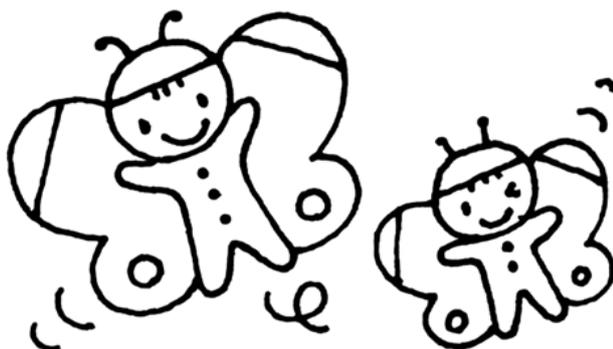
## 児 童 憲 章

児童は 人として尊ばれる。

児童は 社会の一員として重んぜられる。

児童は よい環境の中で 育てられる。

児童憲章より



## 保 育 理 念

子どもの人権や主体性を尊重し  
保護者や地域社会と力を合わせ  
愛される保育園を目指す

## 保 育 方 針

豊かな人間性をもった子どもを育成する  
( たくましく豊かな心 )

## 保 育 目 標

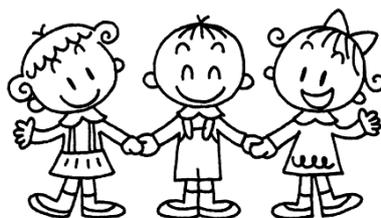
よく遊び

よく考え

よく食べる

みんな仲よし楽しい保育園

- ◎ 戸外での活動を十分に楽しみ、休息や栄養をとり、規則正しい生活をおくり、自らの安全を守るような生活習慣を身につける。
- ◎ だれとでも仲良くし、人を大切にする心や思いやりの心を育てると共に自主性、協調性を養い道徳性の芽生えを培う。
- ◎ 色々なことに興味や関心を持ち、積極的に遊びや生活が出来るようにする。
- ◎ 健康、安全など生活に必要な習慣や態度を養い、身のまわりの簡単なことは自分で処理する力を育む。
- ◎ くつろいだ雰囲気の中で情緒が安定し、意欲的に遊ぶ力を育む。
- ◎ 様々な経験を通し、豊かな感性を育て、創意工夫する心を培う。
- ◎ 生活の中で言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり聴いたりする態度や豊かな言葉を養う。
- ◎ 自然に対する色々な興味や関心を育て、思考力、認識力を培い、科学的に観察する力を養う。



## ひので保育園のおもい

ひので保育園では、幼児期というこれからの基礎となる大切な時期に「人と関わる力を育みたい」という願い

から0～2歳までのクラスでは、担当制保育。3～5歳のクラスでは、異年齢保育に取り組んでいます。担当制保育の良いところは、少人数を保育することで、一人ひとりの子どもをしっかりと受け止めることが出来やすいことと、信頼関係もしっかり築くことができると考えるからです。その利点は、異年齢保育の中でも十分に活かされると考えています。「人と関わる力」は、クラスの中でも育つものではありませんが、いろいろな年齢、いろいろな人と多く関わることでより育まれるものと考えています。いろいろな人と関わるということは、いろいろな人がいることを知る きっかけとなります。一人ひとりの顔が違うようにその思いも違います。一人ひとり好きなことも違います。その 一人ひとりを認め、受入れることが、人との関わる「力」となります。

大人に出来ることは、そのような環境を作ることです。常に、自分も人のことを思いやることができているのか、相手の立場になっているかを考えながら取り組んでまいります。

クラスの中では、なかなか力を発揮できない子どもにとっては、自分をだせるきっかけとなったり、教育効果を期待する面もあります。子どもたちが年齢の異なる友達と一緒に過ごすことや、いろいろな環境の中で自分なりに、生活し、楽しめる心が育ってくれればと思っています。

生活をともにするという事で 保育者間での連携や、共通理解の徹底に努めてまいります。クラス担任と 離れることもあります。子ども達のことについて「情報連絡」等も十分に取ります。多くの保育者の目に触れ、関わることで子ども達のたくさんの姿を発見し、保育に活かしていきたいと考えています。

### やさしくね

例えば泣いている子がいたら、きっと年長・年中の子どもがなだめてくれるでしょう。

保育士が間に入った方が良い場合もありますが、子ども同士の方が納得できる事もたくさんあると思います。

やさしくされた子は、人にもやさしくできるといいます。まず、私たち保育士が、子どもたちをやさしく受け入れていきま

### やってみよう！

異年齢の子どもと一緒に過ごしていく中で大きい子が小さい子に教えてあげている姿を目にする事があります。小さい子どもにとって、生活やあそびの中での年長さんは、最高のモデルです。憧れなのです。私たち保育士は、子どものやってみようという 気持ちを受け止めて「できるまで待っているね」「お兄ちゃんがしているよ、みてごらん」「どうやったらできるかな？」など、子どものやる気を育てる言葉をたくさん かけていきたいです。

### 聞く力を育てたい

「いつも大きな声を出さないと子どもたちが振り向いてくれない・・・」そんな保育から脱出したい。

私たちは意識して、大きな声で「まとめる」のではなく、お家でお話するように、やさしく静かな声でお話するように心

### 先生あのね。

小さな集団で過ごす事で子どもたち一人ひとりとゆっくり接する事ができるので、子どもに対する理解や観察も深まり易いです。

子どもの小さなつぶやきにも耳を傾けていきたいです。

### みんなきょうだい

それぞれの異年齢児のグループが大きな家族となって、お家にいるような雰囲気の中でたくさん甘えてくれたらいいなと思います。

## 1. 生きる力の土台をつくる

### 1. 社会的な基本的習慣

#### ①あいさつ「言って言われて心地よい」

おはようございます。おやすみなさい。ありがとう。ごめんなさい。貸して。入れて。行ってきます。ただいま。など…

#### ②返事

名前を呼ばれたら「はい」と、相手に伝わる返事をします。

#### ③整理整頓

くつや物の乱れは心の乱れに通じる所があります。所定の場所に正しく整理整頓ができるようにします。物を大切にすることを育てていきます。

#### ④食作法

食に感謝する心を育みます。あいさつ「いただきます」「ごちそうさま」で感謝を伝えていきます。口を閉じてしっかり噛んで食べます。（言葉の発達にもつながっていきます）食具を正しく持ちます。テーブルマナーを身につけていきます。（食事のマナースキルやご家庭、園での食事を通して）

#### ⑤ルールを守る（大人も子どもも）

遊具の安全なあそび方や、交通ルールを理解し守ります。

集団での生活や遊びに関わる色々な規範を身につける。

大人も子どもも約束は必ず守ります。大人が子どもとの約束を守ることで、子どもが約束を守ってくれるように育てていきます。大人の都合に合わせず、正しい行動、して欲しい行動を具体的な言葉で伝えていきます。

例：「チョットまって」「あとで」の約束等

物で釣らずに、言葉や心での約束を守ることで返し、子どもの自尊心を育みます。

## 2. 基本的な生活習慣の確立

### ①食事

- ・登園前に家で必ず朝食を食べる。（パン類より米が望ましい）
- ・食べる喜びを感じながら家族や園では友だちと楽しく食事をする。
- ・口を閉じよく噛んで食べる。
- ・食材に対する知識や関心を高め、好き嫌いをなくしていく。

### ②排泄

- ・トイレでの排泄に関心を持つ。
- ・排便の習慣を身につける。（朝または夜、決まった時間帯が望ましい）

### ③睡眠

- ・早寝、早起きの習慣を身につける（夜は遅くても9時までには寝る）
- ・早寝の為に寝る1時間前にはTVやゲームをやめ、静かな環境を作る。
- ・入眠前の儀式を作っていく（絵本の読み聞かせ、今日の楽しかった話や明日の楽しみ、ギュッとハグなど）
- ・保育園の昼寝は夜の睡眠に支障がでないように配慮していく。

### ④衣服の着脱

- ・自分で衣服の着脱ができる。
- ・洋服の前後、裏表を理解し正しく整えてから着ることができる（こあら組から）
- ・脱いだ後、衣服をたたみ袋に入れ所定の場所へしまう事ができる（うさぎ組から）

### ⑤清潔＝自ら気付き清潔にしようとする事ができる子

- ・場面に応じた手洗いができる（歩行が安定した年齢より取り組み開始）
- ・洗顔、体を洗う（家庭やプール遊びを通して取り組む）

- ・歯みがき（園では、こあら組から取り組む）、こぐま・こじか組はフッ素洗口を行う。
- ・鼻をかむ（家庭や園で状態に合わせて取り組む）

上記以外の清潔に関する事項も含む

⑥お手伝い＝積極的に自らすすんで行える。ルールに従って行える。

- ・動植物の世話を通して
- ・給食の準備と当番活動を通して
- ・そうじを通して
- ・年下の子や友だちのお世話、助け合いを通して
- ・後片付け（ひよこ組からあそびを通して取り組んでいく）
- ・上記以外のお手伝いに関する事項も含む

## あそびが仕事

### 自然活動

- ・雨土のかおり、雲など季節を体感できる遊びを提供する事で、子どもたちの五感を刺激していきます。近隣公園での樹木の変化、今山、城山、愛宕山に登る。
- ・散歩を通して地域の方と触れ合ったり、小さな発見を一緒に喜んだりします。
- ・むかばき体験・登山では大自然の中で子どもたちが、遊びを考え自然から学ぶ活動を行います。

### 地域交流

- ・散歩中での出会いを大切にし、ふれあい心の交流を楽しみます。
- ・地域の高齢者クラブの方々と一緒に餅つきやハロウィンで交流を楽しみます。
- ・散歩コースの道路や、近隣公園のクリーン作戦

### まねるは学ぶ

- ・指先あそびに、見る能力を同時に使う事が、自立や感性の基盤となっていきます。「学ぶ力」や「思考力（考える力）」と深く関わっているといわれています。

### あそびながら自立へ

- ・手や指先を使った遊びをたくさん行う事で知能、心、性格の発達に係る土台をつくっていきます。
- ・（\*注）「自立の順序性」にそって肉体的な自立を安定させる 手足の運動能力をしっかり育て 子どもたちの発達段階に合った遊びの提供をします。
- ・わらべうた、ふれあいあそび、さくらさくらんぼリズム遊びを通して、体も心も満たされる事で自立への安定を育みます。

- ・自由な質問、満足のできる時間、適切な遊具などの環境を整えることで「見て考え行動する力」を育てます。
- ・絵本やわらべうた、手遊びを通して、子どもたちは、心地良い言葉に触れます。また、正しい日本語での言葉かけを通して、言語能力を刺激していきます。
- ・生活あそびを通しての場面を切りとり、コミュニケーションスキルとして学びの場をつくることにより、友達との

#### \*注「自立の順序性」

- ①「肉体的な自立」①”「精神的な自立」→②「心の自立」→③「知的な自立」
- ① ‘粗大運動能力の十分な発達、指先の調整能力の発達 ①”生活能力の自立
- ②親に深く愛されている、魂を抱きしめられているという自覚
- ③自分で考えて自分で解決する能力

保育園は、児童福祉法に基づき「保育を必要とする乳幼児」を保育することを目的とする児童福祉施設です。友達との新しいきずなを結ぶ出会いの場でもあります。ともに刺激を受け育ちあいます。その中から基本的習慣や必要な言葉を身につけます。

保育にあたっては、こどもが健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、家庭や地域社会と力を合わせ、一人ひとりの個性を大切に、合わせて家庭支援を行い、養護と教育が一体となって、豊かな人間性

を持った子どもを育成する。そのために職員は豊かな愛情を持って接し、資質の向上に努め、共に子どもの健やかな成長を願っています。

## 担当制保育とは

◎ 3歳までに人格の土台がつくられると言われています

- \* いたずらや気まぐれは、子どもの成長にとっての大事な「仕事」
- \* 何に興味を持っているのか じっくり観察し、自分でやりたがるならやらせてみる
- \* 駄々をこねることには理由がある
- \* 善悪すべてスポンジのように 無意識に吸収する頃です。この時期に出会う大人や、どんな環境に身を置くかで とても影響を受けてしまう

◎ 0～3歳までの年齢は、人間として最も重要な時期です。子どもたちの著しい発育・発達の変化を見落とさ

ないために、担当制保育を行い 細かな配慮・援助を通して家庭的な雰囲気の中で保育をします。

◎ お家でお母さん、お父さんがそうであるように、いつも世話をしてくれる保育士が同じであることによって、子どもも安心感が得られ、個々の発達や習慣をより正確に知ることが出来ます。子どもの状態がしっかりと把握出来れば、それにふさわしい働きかけもでき、基本的な生活習慣がきちんと身に付けやすいという利点があるので、担当制に取り組んでいます。いつも決まった保育士が、自分のことを必ず助けてくれる母親代わりともいえる存在となり、子どもに情緒的な安定をもたらしてくれるでしょう。情緒の安定している子どもは、どんなことにも 積極的になることができ、それが個々の発達とも大きな関わりを持つと考えています。

### 担当制保育の良いところ

強い信頼関係が築かれ、  
子どもの心の安定が生まれ、  
安心して過ごすことができる

心の基地ができ、そこから、お友達や  
他の保育士、大人との人間関係を  
広げていき コミュニケーション能力が  
発達し、集団での生きる基礎を育むことができ



愛されている、必要とされていると感じ  
ることで自己肯定感が高まり自信となっ  
ているんなことに挑戦することができる

## 異年齢保育について

Q1 異年齢保育って？

A 同じ年齢のクラス（年齢別保育）に対し、3・4・5歳児の子どもが一緒になったグループ（20名くらい）で行う保育です。ひので保育園では、2つのグループにわけて保育を行います。

Q2 クラスはなくなるの？

A 年齢別での保育も行います。行事や活動内容によっては年齢に合わせて行います。

（運動会・発表会・太陽スポーツ教室・英語教室など）年齢別のクラス担任は、今まで通りです。年齢別保育の時は、行事予定表等で事前にお知らせいたしますのでご安心ください。

Q3 聞きたいこと、お願いしたいときは誰に言ったらいいの？

A クラス担任（年齢別）でもグループ担任（異年齢）でもどちらでも構いません。連携を密にしてどの職員に

聞いてもわかるように対応しています。

Q4 一年を通して同じグループなの？

A 基本的には同じグループです。(入園・退園等で人数に変更がある場合などは若干のグループ変更をすることがあるかもしれません) また、保育士の出張などにより他のグループと一緒に活動することもありますので、保育内容が変わったり、連絡帳記入が担当保育士でない場合があります。

## 保育園の1日

子どもさんの保育は、ご家庭と連携をとり、その日の体調や状況に応じて個別に対応していきます。特に乳児のお子さんは、一人ひとりの生活を十分に保障して保育しています。

### デーリープログラム

時間	0・1・2歳児	時間	3・4・5歳児
7:00	開園 順次登園 健康観察(検温等) 合同保育	7:00	開園 順次登園 健康観察(検温等) 合同保育
8:50	片付け、おやつ準備	9:20	片付け、手洗い、排泄 各クラスに分かれる
9:00	おやつ 体操(さくらさくらんぼリズム体操、他) 朝のおあつまり あいうべ体操 ひろのば体操	9:30	給食放送 あいうべ体操 ひろのば体操
10:00	グループ、クラス活動	9:40	漢字絵本 カード遊び
10:45(0歳児)	0歳児は、順次昼食	10:00	さくらさくらんぼリズム体操
11:10(1,2歳児)	片付け、昼食準備	10:40	グループ、クラス活動
11:25(1,2歳児)	昼食	11:30	片づけ、手洗い、排泄
12:00	昼食準備 (着替え、排泄)	12:00	昼食
12:30	お昼寝準備 お昼寝 起きた子どもから順次 排泄、手洗い、検温	13:30	おやつ 帰りの会
14:45	起床 おやつ準備	15:30	・今日たのしかったね(振り返り) ・明日の活動の確認、 準備するもの
15:00	おやつ 帰りの集まり	16:00	・季節のうた又はわらべうた 自由遊び 片付け 順次降園
		17:00	

15:30	自由遊び		
	順次降園		
18:00	延長保育	18:00	延長保育
19:00	閉園	19:00	閉園

\* 0歳児は、生後月齢に合わせたミルクの時間や睡眠時間など個別に対応し、沐浴時間等も設けてあります。

### 保育園生活

年齢	クラス名	異年齢・担当別	担任
5歳児	こじか組	グループ	藤川 雅代
4歳児	こぐま組	グループ	佐藤 いづみ
3歳児	こあら組	グループ	長友 美和 木本 愛香
		グループ フリー グループ フリー	工藤 鉄兵 佐藤 里奈
2歳児	うさぎ組	2歳児担当	安藤 美穂 ・ 和田麻記子 甲斐 明穂
1歳児	こりす組	1歳児担当	金丸 聖子 ・ 白川美奈子 黒木 愛
0歳児	ひよこ組	0歳児担当	中邨 美香 ・ 星川 友希 柳田 貴子

※非常勤・・・伊藤 真弓 ・ 大石 由美恵 ・ 横山 裕美 ・ 吉田 陽子

### 3. 登降園について

- ・ 送迎は保護者もしくは保護者にかわる方と一緒にお願いいたします。  
又、保護者以外の方が送迎するとき、延長保育になるときは事前に園まで電話でご連絡ください。
- ・ 登園、降園の際は、タッチパネルにて確認をお願いします。
- ・ 給食等の関係がありますので、午前10時より遅くなるときは連絡してください。
- ・ お車で送迎の際には、エンジンを切り、施錠をお願いいたします。
- ・ 気になること（微熱・機嫌が悪い・昨日の様子）がある場合は職員に口頭でお知らせ下さい。
- ・ 不審者対策として、施錠していますのでインターホンを押し、お名前をお知らせください。
- ・ 日曜日・祝祭日・年末年始は休園いたします。
- ・ 園行事を休日・土曜日に行うことがあります。（行事予定表を御参照ください。）

### 4. 連絡について

・ 0,1,2歳クラスは、ご家庭との連絡に、連絡帳を利用いたします。毎日、目を通してサイン（印）をお願いします。

・ 3・4・5歳児では、掲示板にて今日の活動を紹介しています。何かありましたら、連絡ノートに記入されるか

直接職員におっしゃってください。

- ・ お知らせを掲示したりしますので、気をつけてご覧ください。
- ・ 毎月、園だより・クラスだより・給食だより・離乳食だより等を配布いたします。  
個人ファイルからお持ち帰りください。

- ・ 住所・電話番号・勤務先等が変更になったときは速やかに園に連絡してください。

## 5. 外部講師

- ・ 太陽スポーツ・・・運動教室（月1回） 対象3・4・5歳児
- ・ 加藤先生・・・英語遊び（月2回） 対象3・4・5歳児

## 6. 「給食について」

保育園での給食は乳幼児の健やかな成長と発達を願い、おいしく、楽しく、バランスのとれた食事を提供することにより「食べる」事に関心と意欲を持ち、豊かな心と体を育てて、健康に生きる力を身につけてもらうことを願っています。

近年、生活習慣病の増加が問題となっていますが、その予防には子どものころからの正しい食習慣が重要です。健やかな成長、病気にならない食習慣づくりを家庭と保育園で連携をとりながら一緒に進めていきたいと思えます。

### 給食・食育の目標

①乳幼児期の子どもの健康な身体を育む	⑥嗅覚を育む
②食に対する興味・関心を育む	⑦咀嚼（そしゃく）する力を育む
③食に対する感謝の気持ちを育む	⑧なるべく好き嫌いをなくす
④食欲を育む	⑨楽しく食べる習慣を身につける
⑤味覚を育む	⑩基本的な生活習慣を確立し、食作法を身につける

- \* 0, 1, 2歳児は、完全給食です。午前（9時）と午後（3時）のおやつがです。
- \* 3, 4, 5歳児は、副食と午後のおやつがです。メニューによって主食がでる場合があります。毎月の献立表をご確認ください。（主食がいない日には、○をしています）
- \* 3, 4, 5歳児は、主食の準備をお願いします。（白ご飯に限ります）
- \* 行事によっては、お弁当日があります。献立表でご確認ください。（幼児食に移行した年齢から）

	主食（ご飯・パン）	副食（おかず）	午前のおやつ	午後のおやつ
0・1・2歳児	○	○	○	○
3・4・5歳児	×	○		○

### 「離乳食」について

子どもさんの成長や月齢に合わせてながらご家庭と連携をとりながら進めていきます

ご家庭で摂取した食材をもとに離乳食の献立を作成しますので、食材が進んだ場合には担当職員にお知らせいただくと助かります。

ご家庭で離乳食に関する進め方やメニューなどでお悩みの方は、職員又は栄養士にお気軽にご相談ください。噛むこと（咀嚼）は健やかな身体づくりに重要な要素です。よく噛まない子どもは、あごの力が育たず、内臓に負担をかけるとともに、将来大食いになりやすいと言われています。離乳食のときから、それぞれの子どもにあった調理をすることで、よく噛んで食べる習慣を育みます。健康と味覚を育むため、だしをしっかり取り、基本的に味付けはしません。子ども達は食材本来の豊かな味わいを自然に覚えていきます。

### 食物アレルギーの対応について

医師の診断書に基づいて行っています。医師の指示に従って保護者、主任、担任、栄養士（給食）が十分

に連携をとりながらすすめていきますので、入園時に必ずお知らせください。

\* 除去食の対応が必要な子どもさんは、かかりつけの病院に行き、負荷テストを受けアレルギー除去食に関する

診断書とアレルギー除去食の指示書を保育園に提出してください。

## ひので保育園の食育の取り組み

ハートスキルを通して、楽しく食べる・なんでも食べる・  
マナーよく食べる ことが身についてきます。

### ～旬の野菜の栽培～

自分たちで野菜を育てていく中で、食に関心が持てるようになってきます。  
ピーマン、トマト、ナス、きゅうり栽培  
芋ほり 梅干し作りなど



### ～お料理体験～

クッキングを通して、食べたいという気持ちを高めたり、食事に対する感謝の気持ちを学びます。  
また、行事食や伝統食、旬の味覚を味わうことにより日本の文化に触れます。  
・よもぎだんご、お芋の茶巾しぼり、おにぎり、ピザ、パン、うどん作り、餅つき体験

### 「食育相談窓口」

その日の給食献立を展示しています。調理方法・栄養・離乳食など食に関するご相談は、いつでもご遠慮なく担任や給食室にお尋ねください。

### 「朝ごはんについて」

基本的には、ご家庭での朝ごはんが大切だと考えておりますが各ご家庭の事情で朝ごはんが食べれずに登園する子どもさんの事を考えますと 午前中は元気のないまま過ごさなくてははいけません。お子さまの健やかな成長を願っている保護者の方も 心配されたままお仕事に行かなくてはなりません。この状況ではいけないので、やむを得ず、朝食が摂れなかった場合には時間限定で持ってきてもよいことにします。

朝食べれる時間・・・朝7時から7時30分まで

朝ごはん・・・おにぎり限定

\*アレルギー食対応としまして食べるものを限定させていただきます。



## \* \* 大切なわが子！愛するわが子！どちらに育てますか？

### 「朝ごはんを食べる子」

- ① 体のリズムが整い元気いっぱい
- ② 睡眠によって下がった体温が上がって元気に遊ぶ準備OK

### 「朝ごはんを食べない子」

- ① 午前中は、頭も心もボーとしてしまう
- ② 昼食でエネルギーチャージ夜型人間になる
- ③ 体温が上がらず午前中から眠くなる



## 7. 健康管理について

### 「園での感染症対策」

当園では下記の項目について正しく行い、感染症の流行まん延を予防しています。

- ① 幼児のおもちゃ等を定期的に消毒し「感染症対策チェックリスト」の項目にそって毎月チェックしています。
- ② 保育室等の部屋の空間を、ハード水による空間除菌を行っています。
- ③ おう吐の際の処理を正しい方法で行い、確認の意味で処理手順を含む勉強会や手順の写真を掲示したりしています。
- ④ 感染症の報告があった場合、速やかに1F出入口に「感染症情報」として掲示を行っています。
- ⑤ インフルエンザなどの流行期には症状などの記載のあるプリントを配布しています。
- ⑥ 手洗いは子どもだけでなく、職員全員に対しても徹底して行っています。

保育園は集団生活の場であり お子さまの「健康管理」には十分留意しております。

保護者の皆様も登園前にお子さまの健康状態（顔色・機嫌・食欲等）に留意され、ご心配なことは、職員にお伝え

ください。

- \* 持病（ひきつけ・喘息・アレルギー・熱性けいれん等）のあるお子様は前もってお知らせください
- \* 登園後体温が38℃以上又は体調不良で連絡を必要と判断した場合には、保護者にご連絡いたします
- \* 予防接種は保育園では行っておりません。予防接種を受けた場合には、感染症の流行時期などに確認をしたりするために必要ですので必ず職員までお知らせください

### 『感染症と診断されたら』

集団生活上、早期治療をお願いいたします。

詳細は別紙「すくすのびのび」を参照してください

◎感染症と診断されましたら速やかに保育園までお知らせください。

◎治って登園する場合にはかかりつけの医師から『治癒証明』又は『登園許可』をもらい提出をお願いしま

す。  
証明が有料の場合には、担当（工藤智子）までご相談ください

- インフルエンザ等大流行した場合には、上記対応が変わる場合もあります

### 『発熱時と下痢の対応について』

◎夜熱があったり、下痢や嘔吐、ご家庭でけがをしたりした等、健康上変わったことがあれば登園時に職員まで必ずお知らせください

◎保育中に体調が悪くなった場合は、早目にお知らせいたします。全身症状を見て、熱が高くなくてもご連絡する場合や症状によっては、お迎えをお願いすることもあります。

### 『くすりについて』

◎保育園では原則として薬はお預かりできないことになっていますが、昼間にどうしても服用しなければ

ならない場合のみ保護者に代わってお薬を子どもさんに飲ませることが出来ます。

- ◎お薬を処方されるときにかかりつけの医師に朝夕2回の処方にならないかご相談されてみてください
- ◎保育園内での軽度のすり傷に関しましては、流水で傷の汚れを流します
- ◎虫刺され（主に蚊）に関しましては刺激の少ない市販の薬を使用します。使用する場合には、事前にお知らせ致しますので体質等で使用できない場合には申し出てください。保護者の方と一緒に対応していきたいと思います。ご家庭の対応策で虫よけシールやスプレーをして頂いてもかまいません。保育園での再スプレーはいたしません。
- ◎日焼け止めについては、登園前に使用してきてください。子どもさんの皮膚が弱く紫外線で軽度の火傷状態になるなどの申し出がありましたら保護者の方とご相談のうえ対応していきます。
- ◎急な病気やけがの場合、または緊急時（火災・地震・不審者の侵入など）に「緊急連絡表」に記入された連絡先に連絡をいたします。連絡先や勤務先、住所、電話番号、の変更などありましたらその都度お知らせください

## 保育園での薬の取り扱いについてのお願い

- 1 保育園で薬を与える場合は、安全確保のために「お薬預連絡票」に必要事項を書き添えていただき、1回分の薬に「お薬預連絡票」を職員に直接手渡ししてください。記載漏れや手渡し忘れなどがある場合には薬を与えません。
- 2 保育園で与える薬は、病院で診察を受け処方されたものに限りです。(服用期限を過ぎたものは与えません) 内服薬に関しましては、毎回「薬預かり票」を記入して薬と一緒に提出して下さい。
- 3 発熱時の解熱剤や、気管支拡張テープ、抗けいれん剤（けいれん止め）、喘息発作時の気管支拡張剤（発作止め）は、お預かりできません。
- 4 内服薬に関しては必ず**1回分（当日分）**のみの預かりになります。  
**薬の容器や袋に必ず子どもさんの名前を記入**してください。  
皮膚疾患等の塗り薬に関しては、担任までお尋ねください。

## お薬連絡票

記入のうえ、必ず薬と一緒に、保育士へ手渡ししてください。

依頼先	ひので保育園	記入日	年	月	日		
依頼者	保護者名						
	園児名						

病名			該当するものに○を記入
薬の種類	内服薬	粉( )袋・液体シロップ 1回分・錠剤( )錠	
	使用する時間	食前・食後・食間	
	外用薬	(塗り薬・点眼)	
	使用する回数		
受付保育士	実施保育士		
実施前確認者	実施時刻	時	分

## 体調不良時の対応

### 【発熱】

#### 1 家庭で発熱した場合の対応

- (1) 登園前の子どもの体調に気をつけて下さい。ぐずる、泣く、食欲がない、顔色が悪い、咳や鼻水が出るなどの症状に気づいた時は、熱が無くても早めに主治医を受診してください。
- (2) 登園を控える必要がある伝染病であるか否か、主治医に診断してもらいます。同時に「保育園に通っている」ことを話し、登園してよいかどうか確かめてください。
- (3) 登園を控えるように指導された場合は、子どもの安静のために、また他の子どもへの感染を防ぐために自宅および病児保育施設で療養してください。

#### 2 保育中に発熱した場合の対応

- (1) 保育中に 38.0℃以上の発熱があると判断した場合は、食欲・機嫌・元気の有無・咳や鼻水の程度などを観察した後、保護者へ連絡します。その際は、原則として保護者に子どものお迎えをお願いします。
- (2) 熱は 38.0℃に至っていなくても、食欲がない、元気がない、発疹がある、下痢が頻回ある、などの合併症状があれば保護者に連絡することがあります。
- (3) 軽度の発熱はありますが、全身状態が良好で、その他の症状も軽微であれば、しばらく保育を続けることもあります。ただし、症状の悪化が見られた場合は再度、保護者へ子どものお迎えの連絡をいたします。

### 3 病気回復期の登園

- (1) 登園するには、前日には一昼夜解熱（37.5℃以下）していることが大切です。少なくとも前夜は解熱剤を使用せずに解熱している必要があると思われます。前夜まで発熱しており 今朝初めて解熱した場合は①その後再び発熱する可能性が高いこと、②解熱直後は免疫力も低下しており新たな感染症に罹患しやすいこと、③子どもの体調回復が不十分であること、④他児へ感染する可能性があることなどが予想されますので、登園を控えることが望ましいとされています。
- (2) 前日から解熱している場合でも、食欲・機嫌・元気の有無、咳や鼻水の程度などを考え合わせ、登園させてよいかどうか判断してください。
- (3) 病気が十分に回復したと考えて登園させた場合でも、保育中に再び悪化することがあります。前日の様子や悪化した場合の緊急連絡先などを登園時に必ず伝えてください。

#### 【下痢】

乳幼児は種々の原因で下痢をしますが、子どもたちの症状を早期に改善するため、また他児への感染を防止するため、下痢等の症状がある子どもたちについては以下のように対応させていただきます。ご協力をお願いします。

#### 1 自宅で下痢が始まった場合

- (1) 下痢とともに以下のいずれかの症状があるときは登園を控え、必ず病院で受診してください。
  - ①血便
  - ②発熱：昨日から今朝にかけて37.5℃以上の発熱があるとき
  - ③強い腹痛：常時あるいは継続的にあるとき
  - ④おう吐を伴っている場合は脱水症状をおこしやすい
  - ⑤全身状態が悪い：顔色不良、食欲低下、不機嫌など
- (2) 病院受診時には、保育園に通院していることを必ず伝え、登園の可否については医師の指示に従って下さい。

#### 2 保育園で下痢等があったときは、次のように対応します。

- (1) 下痢とともに以下の症状を伴う場合は、早期に病院受診の必要がありますので、症状の連絡をし、早期のお迎えをお願いします。
  - ①血便が出たとき
  - ②37.5℃の発熱を伴うとき
  - ③下痢が2回以上出たとき
  - ④おう吐を伴っているとき
  - ⑤腹痛を訴えているとき
  - ⑥顔色不良、食欲低下、不機嫌など、全身状態が悪いとき
- (2) 以下の症状が出た場合には、お迎えの際に保育士から症状についてご連絡します。
  - ①下痢の量が多いとき
  - ②通常の便と異なるとき

3 症状が回復したら、医師の許可を得た上で登園してください。

\* 以下のことは遵守してください。

1. 緊急な場合に、必ず連絡がとれること
2. 子どもの状態が悪化した場合に、すぐ来園できること

## 登園基準リスト

### 各種感染症

病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
1 はしか（麻疹）	8～12日	発熱1～2日前から発疹出現後4日後まで	カタル期、発疹期、回復期と症状が変化する。高熱、咳、鼻汁、結膜充血	解熱後3日を経過してから
2 インフルエンザ	1～4日	症状がある期間	突然の高熱、全身症状（倦怠感、関節痛、筋肉痛、頭痛等）呼吸器症状	発熱後5日を経過し、かつ、解熱後3日経過している
3 三日はしか（風疹）	16～18日	発疹出現の前後7日間	種々の発疹、発熱、リンパ節腫脹	発疹が消失したとき
4 水ぼうそう（水痘）	14～16日	発疹出現1～2日前から痂皮形成まで	軽熱、発疹、斑点丘疹状、顆粒状痂皮	すべての発疹が痂皮した時
5 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	16～18日	耳下腺腫脹3日前から耳下腺腫脹後4日	発熱、耳下腺、舌下線、顎下線の腫脹及び痛み	耳下腺、舌下線、顎下線の腫脹が発現して5日を経過するまで
6 結核	2年以内（特に6か月以内）	喀痰の塗抹検査が陽性の間	咳、痰、発熱で概ね2週間以上蔓延する。乳幼児では重症結核になる可能性がある	医師により感染のおそれなくなったと認められてから
7 プール熱（咽頭結膜熱）	2～14日	発熱、咽頭炎充血等症状が出現した急性期数日間	高熱、頭痛、食欲不振、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後、2日を経過してから
8 流行性角結膜炎（はやり目）	2～14日	発病後2週間	流涙、結膜充血、耳前リンパ節の主張と圧痛を認める	医師により感染のおそれなくなったと認められてから
9 急性出血性結膜炎（アポロ病）	1～3日	ウイルス排出は呼吸器から1～2週間、便からは数週間～数ヶ月	急性結膜炎で結膜充血	医師により感染のおそれなくなったと認められてから
10 百日咳	7～10日	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失するまで
11 腸管出血性大腸菌感染症（O-157等）	3～4日	便中に菌が排泄されている間	激しい腹痛、下痢、血便	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの

12	ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、 アデノウイルス)	約 1~3日 /日 12h~48h	症状のある間と 症状消失後1週 間 便からウイルス 排出2~3週間の間	発熱、腹痛、下痢、嘔吐	嘔吐、下痢等の症状が治まり、 普段の食事がとれること
13	RSウイルス	4~6日	呼吸器症状のある 間(乳児3~4週 間・通常3~8日)	発熱、鼻汁、咳、喘鳴、呼 吸困難	呼吸器症状が消失し、全身状 態が良いこと

登園届の必要なもの…かかりつけの医師の診断に従い保護者が記入する(用紙は保育園にあります)

14	溶連菌感染症	2~5日	抗菌治療薬を開始 後24時間経過 するまで	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、 莓舌、頸部リンパ節炎、全 身に発疹	抗菌薬内服後24時間~48時間 経過していること
15	マイコプラズマ肺炎 (うつる肺炎)	14~21日	症状発現時がピー ク。その後4~ 6週間	咳、発熱、呼吸困難	発熱や激しい咳が治まってい ること
16	手足口病	3~6日	唾液のウイルスの 排泄1週間・便 への排出数週間	水疱性発疹が口腔粘膜、四 肢末端に現れる	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の 影響がなく、普段の食事がと れること
17	りんご病 (伝染性紅斑)	4~14日	かぜ症状発現から 顔に発疹が出現 するまで	顔面赤斑とくに頬部の赤斑 性発疹	全身状態がよいこと
18	ヘルパンギーナ	3~6日	唾液のウイルスの 排泄1週間・便 への排出数週間	高熱、咽頭痛、咽頭に水疱	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の 影響がなく、普段の食事がと れること
19	帯状疱疹	不定	全ての発疹が痂 皮するまで	小水疱が神経に添った形で 片側性に現れる	全ての発疹が痂皮化してから
20	突発性発疹	約10日	発熱のある間	高熱、3日後に全身に発疹	解熱後1日以上経過し、全身状 態が良い事

\* 感染症の種類により、治癒証明書・登園許可書(医師記載)又は登園届(保護者記載)を園に提出してください。

## 登園届(保護者記載)

\_\_\_\_\_園長様

入園児氏名\_\_\_\_\_

病名「\_\_\_\_\_」と診断され、

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 医療機関名「\_\_\_\_\_」におい

て

集団生活に支障がない状態と診断されましたので登園いたします。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

保育園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断にしたがい、登園届の提出をお願いいたします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

## 8. 衛生管理

当園では、以下の衛生管理を実施します。

### ☆児童の保健衛生☆

### ①登園時

- ・視診 : 顔色、体調、表情等の健康状態を観察します。
- ・口頭確認 : 保護者さまに家庭での様子を口頭で確認します。
- ・連絡帳 : 家庭での前日からの様子を確認します。
- ・検温 : 検温も含め園において子どもの体調を観察します。
- ・爪 : 爪が伸びていたら、保護者さまに切っていただくようお願いします。

### ②保育中

- ・睡眠中 : 目や顔の表情や呼吸の状態を観察します。午睡中の乳児、授乳後、風邪症状が見られるときには、特に細かく観察します。
- ・食事中 : 食欲の有無などから健康状態を観察把握します。咀嚼（かむ）や嚥下（飲み込む）が上手くいかない状況が認められる場合には、家庭とも連絡を図りながら問題を改善していきます。

### ③身体測定

- ・実施回数 : 毎月、身長・体重を測定し記録します。
- ・実施結果 : 保護者さまが発育状況を把握できるよう努めます。

### ④定期健診

- ・実施回数 : 内科健診 年に2回（6月・2月） 歯科検診 年に1回（4～5月）  
検尿検査 年に1回（6月）
- ・実施担当者 : 嘱託医

## 9. 安全対策

登園では、以下の安全対策を実施します。

### ☆不審者対策☆

#### ①園内セキュリティシステム

登園では以下のセキュリティシステムを構築し安全対策を行います。

- 1) 非常事態に対するあらゆる対応（警報ベル/警察・消防への直通連絡/安全対策管理者への児童連絡等）を行います。
- 2) 電子錠付門扉による入退管理

#### ②お迎え

父母、又はご連絡いただいた送迎者以外の方には決して園児をお引渡ししません。

#### ③不審者情報

当園では他機関とも連携し、地域の不審者情報の収集に努めています。同時に、保護者の皆さんからも情報を収集し、関係者全員で情報を共有します。

#### ④不審者侵入防止訓練

不審者侵入防止訓練を実施します。園児の安全を守るための避難経路確保、不審者撃退、通報などの訓練を職員全員で行います。

### ☆災害対策☆

#### ①防災計画

保育園の防災計画を管轄消防署に提出しています。年間防災計画は毎年4月に策定します。

#### ②避難訓練

火災、及び地震を想定して毎月1回、年12回避難訓練を実施します。

#### ③防火管理者業務

- 1) 避難訓練年間計画に基づき、毎月の避難訓練の計画を策定します。
- 2) 避難訓練実施の結果を記録、保存します。

3) 日常の安全点検を実施し、職員へ指示を出します。(毎月)

- ・ 棚は重いものを下に収納し、重心を低くする。
- ・ 棚等に収納されたものが落下しないように策を講じる。
- ・ 燃えやすいものを撤去する。

④非常持出し品(避難リュック)、非常備蓄品、防災準備品の点検を毎年4月に実施し、園外保育実施前にも確認します。

### ☆事故防止☆

保育士は定期安全点検を実施し事故防止に備えます。まう、点検の対象となる建物、設備、ピアノ、整理棚など対象物ごとに点検すべき事項を検討して「設備点検チェックリスト」を作成し、職員全員で毎月点検を行います。これにより、点検漏れを防ぐとともに、潜在危険を生じやすい設備・備品等に気付き、事故防止を徹底します。

### ☆事故発生時

#### ①ケガ、事故発生時の対応マニュアル

ケガ、事故が発生した場合に、迅速かつ適切な対応が行えるよう、園長をはじめ保育士全員が共通認識をもち、普段から対応できるようにするためのフローチャートを作成しています。

#### ②報告・判断・説明

ケガ、事故発生時には、直ちに応急手当を実施すると同時に、報告・連絡を行い、ケガの状態・程度・部位より 医療機関を受診する必要性の有無の判断を的確に行います。

ケガの大小に関らず、お迎え時には詳しい説明と報告を行います。

#### ③事故記録簿

実際に事故が起きた場合には、経緯・対応・処置・発生状況・受診記録・改善策を詳細に記録し、これらの記録を 基に、事故防止、安全対策について再検討し、以後の事故防止に努めます。

#### ④安全教育

安全に行動する態度・習慣・知識の育成を「日常の保育計画」に盛り込み計画的に行います。年齢や発達段階に応じて、「自身を守る」ために必要な判断力・体力・瞬発力・調整力等を養うのに有効なあそび方、生活の仕方を工夫した保育を実践します。

## 10. 服装・持ち物について

- ◇ 清潔な活動しやすい服装をさせ、自分で着脱しやすいものを着せましょう。
- ◇ 薄着の習慣を身につけましょう。
- ◇ 靴はサイズの合ったものを選びましょう。  
(サンダルやブーツなどは活動しにくく思わぬケガにつながる場合も考えられます)
- ◇ 着替え2~3組・肌着・ビニール袋(着替え入れ)・ひも付きタオル等持ってきてください。  
(各クラスで若干異なりますのでクラスの説明等で確認をしてください)
- ◇ ひも付き水筒を散歩等に持ち歩きますので子どもさんの体に合ったものをご用意してください。
- ◇ **持ち物すべてに名前を記入をお願いします。**

## 11. その他・お願い

- 保育園には9時30分までには登園しましょう。どうしても遅れる場合には、10時までには必ず連絡をしてください。

- 保育園からの配布物・メール等には、必ず目を通してください。
- 薬・写真代・検査提出物等は必ず職員に直接手渡しをお願いします。
- 衣服等の紛失物がありました時は、すぐにご連絡ください。
- 絵本の貸し出しを随時行っております。お子さんと一緒に楽しんでください。
- お気づきのこと、改善してほしいことなどございましたら、お申し出ください。私どもは、可能な限り 保護者の皆様のご要望にお応えしたく最大の努力をはらっていくつもりです。

### ➤ 体そう服購入について

保育園の行事や太陽スポーツ教室、運動遊びで使用します。

「体そう服」 こあら・こぐま・こじか組

★上着（半そで） 1, 390円

★ズボン 1, 390円

☆サイズ 100、110、120、130

\*140以上は別注になります。



### ➤ 写真について

個人アルバム代として年間2100円を年度初めに徴収させていただきます。

個人アルバムは年間65枚の写真で製作する予定です。その他の写真は園ナビフォトさんに

アップ

します。こちらは1枚70円で購入できますので、ご希望の方は園ナビフォトさんへの登録

をお願い

致します。